

nano week 2010

最新の技術動向、最先端の研究成果がわかる3日間!!

2月17日(水)~19日(金)の期間中、nano week 2010として、以下の会議が開催されます。お申し込み、プログラムの詳細は
<http://www.nanotechexpo.jp/nanoweek2010.html>まで。

■Green Nanotechnology 特別シンポジウム

2月17日(水)~2月19日(金) ※時間はメインシアタープログラム参照
展示会場内メインシアター
主催：nano tech 実行委員会

■NEDOウォーターソリューションシンポジウム

「世界水ビジネス動向と国家戦略」
2月17日(水) 9:30~16:30 会議棟1階「レセプションホールA」
「水ビジネスの海外展開に向けた具体策」
2月18日(木) 9:30~16:40 会議棟7階「国際会議場」

■nano & neo 新機能性材料展テクニカルフォーラム

◎コーティングテクニカルフォーラム
「コーティングを制御・把握するための要素技術」
2月18日(木) 10:00~17:00 会議棟7階「703会議室」
◎粘着テクニカルフォーラム
「明日へのモノ作りに活かす、粘着要素技術」
2月19日(金) 10:00~17:00 会議棟7階「703会議室」

■第6回ナノバイオ国際シンポジウム

「ナノテクノロジーがもたらすバイオ・アグリ・コスメ革命」
2月17日(水) 9:00~17:15
会議棟6階「605会議室」

■第9回 NIMSフォーラム 一物質・材料の最先端研究と技術移転—

—社会ニーズに対応した物質・材料研究—
2月17日(水) 10:00~18:00(予定)
会議棟7階「国際会議場」
主催：物質・材料研究機構(NIMS)

■ナノテクノロジー国際標準化ワークショップ

2月17日(水) 13:00~17:00
会議棟1階「102会議室」

■シンポジウム：最前線のナノテク人材育成と世界研究拠点

~つくばイノベーションアリーナ(TIA)への期待~
2月17日(水) 15:00~17:30
会議棟7階「703会議室」

■第8回高分子ナノテクノロジー研究会講座

2月18日(木) 9:30~16:45
会議棟1階「102会議室」

■第5回表面技術会議

「環境対応の先端ナノ構造」
「光・色制御の表面ナノ構造技術」
2月18日(木) 10:00~17:05
会議棟6階「605会議室」

■第8回ナノテクノロジー総合シンポジウム JAPAN NANO 2010

※日英同時通訳有
2月19日(金) 10:00~17:50
会議棟1階「レセプションホールAB」
主催：物質・材料研究機構(NIMS)

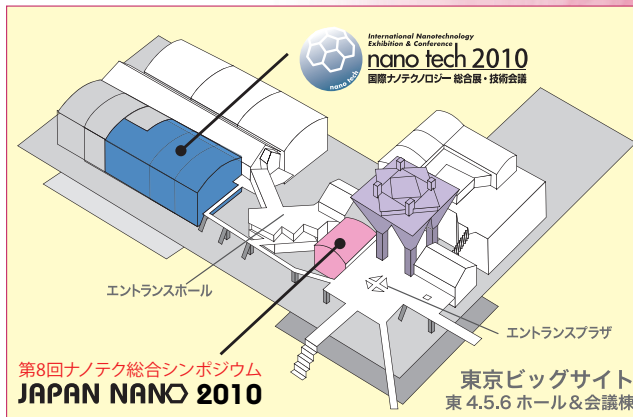
■ナノテクノロジーの社会受容 —その課題と展望—

2月19日(金) 13:00~17:00
会議棟1階「101会議室」

■METEC'10技術講演会

2月19日(金) 13:15~16:15
展示会場内セミナー会場

※講演タイトル・内容等は都合により一部変更になる場合があります。
詳細プログラムはWEBにて掲載いたします。



りんかい線 国際展示場駅下車徒歩約7分
○大崎駅(JR) ←13分→ 国際展示場駅 ←5分→ 新木場駅(JR, 東京メトロ)
※※大崎から新宿・大宮方面へJR埼京線相互直通運転
ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車徒歩約3分
○新橋駅(JR, 東京メトロ・都営地下鉄) ←22分→ 国際展示場正門駅
○豊洲駅(JR, 東京メトロ) ←8分→ 国際展示場正門駅
水上バス 有明客船ターミナル下船徒歩約2分
○日の出様橋(JR浜松町駅徒歩約7分) ←20分→ 有明客船ターミナル(※月・火連休、祝日は運行)
都営バス
○東16系統(豊洲駅前経由)：東京駅八重洲口 ←約40分→ 東京ビッグサイト
○海01系統(豊洲駅前経由)：門前仲町 ←約30分→ 東京ビッグサイト
○虹01系統：浜松町駅 ←約40分→ 東京ビッグサイト
空港バス(リムジンバス・京浜急行バス)
○羽田空港 ←約25分→ 東京ビッグサイト
○成田空港 ←約60分→ 東京ビッグサイト
○東京シティアターミナル(TCAT) ←約20分→ 東京ビッグサイト
※イベント開催時のみ運行の便もありますので、ご確認ください。
その他直行バス(京浜急行バス)
○横浜駅東口 ←約50分→ 東京ビッグサイト
車(首都高速利用の場合)
○都心から(11号台場線・レインボーブリッジ経由) ⇒ お台場出入口から約5分
○大井・羽田方面から(海岸線) ⇒ 臨海副都心出入口から約5分
○千葉・葛西方面から(海岸線) ⇒ 有明出入口から約5分

Contact (独)物質・材料研究機構 国際ナノテクノロジーネットワーク拠点運営室
Coordination Office, NIMS International Center for Nanotechnology Network
[Phone] +81(0) 29-859-2777 [FAX] +81(0) 29-859-2292
[URL] <http://nanonet.mext.go.jp/> [E-mail] JAPANNANO@nims.go.jp

Nanotechnology

文部科学省イノベーション創出事業
ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト

第8回ナノテクノロジー 総合シンポジウム JAPAN NANO 2010

「ナノテクノロジーのエネルギーと環境への挑戦」
"Challenge of Nanotechnology for Energy and Environment."

Date: February 19th (Fri), 2010

Venue: Tokyo Big Sight, Conference Tower (Tokyo)
東京ビッグサイト 会議棟 (東京都江東区有明)

Language: English/Japanese (simultaneous interpretation)
英語/日本語(同時通訳付)

Conference Fee: Free / 無料

参加申込とプログラムの詳細についてはホームページをご覧ください。
<http://nanonet.mext.go.jp/>

主催: (独)物質・材料研究機構

共催: 文部科学省イノベーション創出事業ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト
参加26機関：
北海道大学、千歳科学技術大学、東北大学、東洋大学、産業技術総合研究所、
東京大学、東京工業大学、早稲田大学、自然科学研究機構分子科学研究所、
名古屋大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、京都大学、
北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、
日本原子力研究開発機構、立命館大学、広島大学、山口大学、九州大学、
佐賀県地域産業支援センター、北九州産業学術推進機構、佐賀大学

協賛: IEEE 東京支部、(社)応用物理学会、(社)高分子学会、(社)電気学会、
(社)電子情報通信学会、ナノ学会、ナノテクノロジービジネス推進協議会、
(社)日本化学会、(社)日本金属学会、(社)日本顕微鏡学会、日本再生医療学会、
(社)日本材料学会、日本人工臓器学会、(社)日本生体医工学学会、
(社)日本セラミックス協会、日本DDS学会、
日本バイオマテリアル学会、日本表面科学会、(社)日本物理学会



開催趣旨 / The Scope of JAPAN NANO2010

年々増加するエネルギーの需要に伴い、温室効果ガス排出量をいかに低減するか、地球環境を保全する上で大きな課題となって来ており、人類社会の持続的発展のためには、効率的なエネルギー生成、利用、貯蔵、消費を進めるとともに、環境に配慮した技術開発が求められております。

ナノテクノロジーには、ナノレベルで計測、物質合成、制御、システム化することにより、エネルギーならびに環境問題解決に向けた飛躍的な技術革新が期待されております。

今回の「ナノテクノロジー総合シンポジウム」では、ナノテクノロジーによるエネルギー、環境に関わる最新の研究開発について展望します。

With increasing demand for energy, the reduction of greenhouse gases which cause global warming is becoming a worldwide substantial issue. For the sustainable development of human society, technologies in harmony with environment as well as efficient production, usage, and storage of energy are required.

Nanotechnology means analyzing, synthesizing, controlling, and integrating at nanometer scale. Nanotechnology is expected to give significant technological innovation to help to solve the energy and environment problems

In the present symposium, cutting-edge nanotechnology R&Ds related to energy and environment issues are presented.

【組織委員会 / Organizing Committee】

野田 哲二 (委員長) (独)物質・材料研究機構 国際ナノテクノロジーネットワーク拠点長
Tetsuji Noda (Chair) National Institute for Materials Science

青野 正和 (独)物質・材料研究機構
Masakazu Aono National Institute for Materials Science

秋永 広幸 (独)産業技術総合研究所
Hiroyuki Akinaga National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

幾原 雄一 東京大学
Yuichi Ikuhara The University of Tokyo

川合 知二 大阪大学
Tomoji Kawai Osaka University

小寺 秀俊 京都大学
Hidetoshi Kotera Kyoto University

今野 豊彦 東北大学
Toyohiko Konno Tohoku University

古屋 一夫 (独)物質・材料研究機構
Kazuo Furuya National Institute for Materials Science

古屋 一仁 東京工業大学
Kazuhito Furuya Tokyo Institute of Technology

堀池 靖浩 (独)物質・材料研究機構
Yasuhiro Horiike National Institute for Materials Science

本間 敬之 早稲田大学
Takayuki Homma Waseda University

松村 晶 九州大学
Syo Matsumura Kyushu University

三澤 弘明 北海道大学
Hiroaki Misawa Hokkaido University

水木 純一郎 (独)日本原子力研究開発機構
Junichiro Mizuki Japan Atomic Energy Agency

横山 新 広島大学
Shin Yokoyama Hiroshima University

横山 利彦 自然科学研究機構
Toshihiko Yokoyama National Institutes of Natural Sciences

February 19th, 2010, Reception Hall A, B
2010年2月19日(金) 会議棟1階レセプションホールA,B

10:00-10:55 [Opening Session / オープニングセッション]

[Opening Remarks / 挨拶]

Prof. Sukekatsu Ushioda

(President, National Institute for Materials Science, Japan)

潮田資勝 (物質・材料研究機構理事長)

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology/
文部科学省

[Plenary Lecture / 基調講演]

10:15 - Prof. Hiroshi Komiyama

(Director General, Mitsubishi Research Institute, Japan)

小宮山 宏 ((株)三菱総合研究所理事長)

“Smart Strategies for Sustainable Development
- Expectations for Nanotechnology”

「低炭素社会構築の課題とナノテクノロジーへの期待」

10:55-14:00 [Session 1]

Generation and Consumption of Energy / エネルギーの生成と利用

10:55 - Prof. Thomas P. Russell (University of Massachusetts Amherst, U.S.A.)
“Polymer Materials for Environment and Energy Issues
and the Role of EFRC”

「環境エネルギーにおけるポリマー研究と米国 EFRC の役割」

11:35 - Prof. Naotoshi Nakashima (Kyushu University, Japan)
中嶋直敏 (九州大学)
“New Carbon Nanotube-Based Electrode Catalyst
for Fuel Cell”

「カーボンナノチューブを素材とする新しい燃料電池触媒」

12:00 - 13:10 昼食

13:10 - Prof. Yutaka Tamaura (Tokyo Institute of Technology, Japan)
玉浦 裕 (東京工業大学)
“Concentrated Solar Energy Conversion into Electric
Power and Chemical Energy”
「集光太陽エネルギーの電力および化学エネルギーへの変換」

13:35 - Prof. Hiroaki Misawa (Hokkaido University, Japan)
三澤弘明 (北海道大学)
“Gold Nano-Structure Enhanced Photocurrent Generation
System from Ultraviolet to Infrared Wavelength”
「光ナノアンテナを用いた広波長帯域太陽光エネルギー
変換システムの開発」

14:00-15:45 [Session 2]

Transport and Storage of Energy / エネルギーの輸送と貯蔵

14:00 - Dr. Jean - Charles Guibert (MINATEC, France)
“MINATEC - The Innovation Campus for Nanoscience
and Nanotechnology”
「フランスにおけるナノテクノロジー産官学開発拠点、MINATEC」

14:40 - Prof. Masahiro Nakatsuka
(Institute for Laser Technology / Osaka University, Japan)
中塚正大 (レーザー技術総合研究所、大阪大学)
“Solar-Pumped Solid-State Laser and Its Application”
「太陽励起固体レーザーとその応用」

15:05 - 15:25 Break / 休憩

15:25 - Prof. Tatsuya Okubo (The University of Tokyo, Japan)
大久保達也 (東京大学)
“Novel Nanostructured Energy Storage Materials
and Environmental Catalysts Composed of
Common Elements”
「ありふれた元素から構成された新規エネルギー貯蔵材料の創出」

15:50-17:45 [Session 3]

Energy Saving and Environment / 環境・省エネルギー

15:50 - Prof. Valiyaveetil Suresh
(National University of Singapore, Singapore)
“Impact of Nanotechnology on Environment
and Energy”
「環境エネルギーへのナノテクノロジー研究のインパクト」

16:30 - Dr. Takahisa Ohno (National Institute for Materials Science, Japan)
大野隆央 (物質・材料研究機構)
“Development of Nanomaterials Simulation Technology
and Its Application to Energy and Environment Issues”
「ナノシミュレーション手法の開発と環境・エネルギー問題への応用」

16:55 - Prof. Hiroyuki Yano (Kyoto University, Japan)
矢野浩之 (京都大学)
“Extraction of Nanofibers from Wood and
Their Applications”
「セルロースナノファイバーの製造と利用」

17:20 - Prof. Atsushi Satsuma (Nagoya University, Japan)
薩摩 篤 (名古屋大学)
“Environmental Friendly Catalytic Reactions
by Silver Nano-Cluster”
「銀ナノクラスターによる環境調和型触媒の開発」

17:45-17:50 [Closing Remarks / 挨拶]

Dr. Tetsuji Noda (Chairperson of the Organizing Committee of JAPAN NANO
2010 / Director General, International Center for Nanotechnology
Network, National Institute for Materials Science, Japan)

野田哲二 (JAPAN NANO 2010組織委員長、NIMS国際ナノテクノロジーネットワーク
拠点長)